

# 理念経営が企業を 再起させる 人材育成の成否が成功の鍵

## 環境認識に対する 根本的な認識の変化

不祥事が続発した食品業界を取り巻く問題は一体何だったのか。相次ぐ不祥事の発覚を受け、食品業界では法令順守の徹底を異口同音に叫んでいるが、本当にそのことが社会の守の前には、誠は、意識としてのレベル

最大の関心事項な実な経営を遂行し、ルに留まり広告宣伝これまで社会で黙認

か。もともと食品業界情報の透明性を高める意味合いが強かされてきた行為が、ばならない。これまで

とだが、ここ最近問題も同様だ。日本の企業は1950年代に温暖化問題をきっかけに社会の関心が環

多くは、「嘘つき」問題となつて以降、重大環境問題に向き始めること、企業経営とができるかが重要

るいは「隠した」ことな健康被害をもた。昨年の政治の運営に甚大な影響を

が問題の発端となら。その背景には、相在せず、むしろ、環境問題であった。急激

次ぐ表示偽装による問題に取り組みむことな社会の関心の高ま

り、今や、安い居酒屋は当たり前のこと。りを受け、これまで

でもつまの大根の色は。問題にならなかつた

を確認し、ラーメン屋。昨今の環境ブームに。以上は従来からも

では餃子の中身を確。乗つて、広告宣伝の。社会問題となるよう

認して食べる消費者。環として環境への取。に。製紙業界に

が。いるなど、これまで。り組みを前面に出す。おける再生紙偽装問

消費者がさほど関心。ようになつた。その。一。電力会社による

を持たなかつたよう。方で、環境部門にナ。データ改ざん、電機メ

なことに突如として。分や予算や人員を配。ーカーによる環境に

関心を持つようにな。置することなく、こ。関する誤表示などの

つた。社会の認識が。れまでの延長線上で。問題である。いずれ

急激に変化する中、。取り組んできたこと。も局所的な問題がま

食品業界が率先して。は否めない。その意。たたく間に大きな社

守の徹底を異口同音。取り組むべき課題。味では、各企業の環。会批判となつた。

に叫んでいるが、本当。は、法令等の徹底遵。境問題への取り組み。これらの不祥事に

守の前には、誠。は、意識としてのレベ。共通していることは、

は、単なる法規制の。く、法令違反そのも

## 倫理法令順守の 呪縛と誤解

今、何が問題なの

か。単なる法規制の

底が問題ではない。

強化やその遵守の徹

底が問題となつた不

祥事の多くは、偽装、

改ざん、隠蔽捏造な

ど、いずれも法令等

に直接の規定もな



大久保 和孝 氏  
新日本有限責任監査法人  
CSR推進部長 パートナー  
公認会計士

慶應義塾大学法学部法律学科卒業。  
新日本サステナビリティ研究所常務取締役。  
社会的責任研究会委員(環境省)、研究費不正  
対策検討委員会(文部科学省)、横浜市コンプラ  
イアンス外部評価委員、不二家信販回生会請  
対策委員、沖縄大学大学院大学公共調達第三者委  
員会委員、放牧場改革委員会、環境省国内排  
出量取引制度検討委員会、京都クレジット等取引  
所研究会など、複数の行政・企業等のCSR、コン  
プライアンスの第三者委員会委員として参画。  
そのほか、早稲田大学等の非常勤講師、複数の  
財団法人やNPO/NGO等の役員等に就任。

週刊

# 世界と日本

昭和47年4月16日

発行所 © 内外外ニュース  
東京都千代田区永田町2-9-6  
〒100-0014 電話(03)5580-1264  
FAX(03)5503-1070  
E-mail:naigai@gg3.so-net.ne.jp  
URL: http://naigai@side6.com/  
代表者 清宮 龍  
発行人 千葉 榮 隆  
毎週月曜日発行  
別送料送料と郵送料15,750円(消費税別)  
郵便振替口座 00190-7-54604

## 企画特集

⑩

## C S R

Corporate Social Responsibility

安心・安全・環境  
我が社の取り組み

## contents

- 全日本空輸株式会社……………1頁
- 株式会社トクヤマ……………2頁
- 東京ガス株式会社……………2頁
- ホーチキ株式会社……………3頁
- 株式会社 永谷園……………3頁
- 電源開発株式会社……………4頁

企画 内外外ニュース  
制作 営業部

強化やその一方的な  
徹底だけでは到底対  
応ができない。役職  
員一人ひとりが、社会  
からの要請や期待を  
正確に捉え、社会に  
対する環境認識を  
根本から変えなければ

